

先輩に
会いたい!

卒業生に聞く 母校への想い

開明

1991年に中学校開校以来、難関国公立大学への進学校として実績を伸ばす同校。行事も多く、心・技・体ともに成長できる学校として定評があります。今年度、現役で京大合格を果たした卒業生に中高時代の思い出を、恩師を交えてお話しいただきました。

勉強部活・行事： 全てに全力投球！

海原先生 志望校を開明に決めた動機や、実際に入学してどうだったか教えて下さい。

横山くん 2人の兄が開明出身で、小学校の頃から文化祭や体育祭にもよく行き、楽しそうだなあと思っていたからです。

荒木くん 僕は単純に家から近かったから。勉強も校則も厳しそだったけれど、サッカー部に入ったから友だちがいっぱいで、いつの間にか不安が吹き飛んでいました。

横山くん 行事も多かったけれど、学年ごとに目標をクリアしていく達成感がありました。だから高3では心おきなく受験勉強に集中できました。

海原先生 楽しかった授業、印象に残る先生はあった？

横山くん 本当はどの授業も楽しかった。たとえばしょっちゅうギャグを言って和ませてくれた英語の先生。ギャグがおもしろい

かはさっておき(笑)。ほかにも中1・2年に担任だった先生は、いつも親身に相談に乗ってくれました。鳥取出身で実家から届いた梨を持って来られて、みんなで皮むき大会をしたこともあります。

荒木くん 僕は中3で「理数コース」から「スーパー理数コース」に移りました。最後まで勉強についていたのは、一緒にがんばる友だちと励まし合ったり、先生方の手厚いフォローがあったからです。

横山くん 中1、中2はあいさつや時間厳守の徹底、行事などで厳しく指導されたけれど、学年が上がるにつれ自由も感じられるようになりました。

海原先生 それは君たちが成長

し、信頼されるようになったってことだよ。思い出に残る学校行事はあった？

横山くん やっぱり中3の「夜間歩行」でしょう！しまなみ海道を真夜中にひたすら歩き続けるなんて、一人だったら絶対にムリですよ。でもこの経験は将来、きっと何かに生かせると思います。

荒木くん それまであまり話さなかったクラスメートとも仲良くなり、絆が強まりました。途中でお母さんたちがふるまってくれた豚汁のおいしかったこと。あの味は一生忘れません。

海原先生 今度はサポートで参加する？

横山くん 荒木くん 一回で十分です(笑)。

荒木くん 勉強だけでなく学校行事も一切手を抜かなかった。文化祭では、高2のときに、カラクリ屋敷を企画。押しも引いても開けられないドアを作ったら、お客さんに大ウケでした。タネを明かせば上にスライドさせるだけなんですけど(笑)。

横山くん 僕は中3のとき、沖縄についての研究発表でマングロープの木を作りま

した。あちこちのホームセンターをめぐって材料

を探し、完成したときはみんなの心が一つになったのがわかった。

最終日に先生がおにぎりやジュースをなど差し入れてくれたのもうれしかったです。

海原先生 志望大学・学部はどのようにして決めたの？

横山くん 「スーパー理数コース」のクラスメートは、ほとんどが東大や京大を目指していましたね。僕は高1のとき、語学研修でオーストラリアへ行き、1週間ホームステイしたことがきっかけになり、将来は海外で仕事したいと思うようになりました。そこで、学ぶ範囲の広そうな農学部の地域環境工学を選んだけれど、開明に入っていないから京大に合格できたか自信はありません。

荒木くん 高2の校外学習で京大のオープンキャンパスに行くと、まず広さに驚き、次に先輩に案内してもらって自由な雰囲気が入りました。最初は経済学部志望でしたが、ある日突然「弁護士ってカッコイイなあ」と弁護士に

あこがれて法学部に変えました(笑)。

海原先生 自分なりに工夫した勉強法、部活との両立は？

横山くん 受験は体力勝負だから、部活は絶対にやっておいた方がいいですね。僕は高1、高2とホッケー部で鍛えられ、あまり風邪を引かなくなりました。

授業をまじめに受けて学校から出された課題をきちんとこなしていれば、部活と両立できるし、塾や予備校に頼らず京大がねえました。勉強法というより、苦手科目をつくらないよう、各教科まんべんなく勉強しました。苦手というのはいずれもあると思います。客観的に見たら勉強量が少ないなど、結局は自分に問題があるはずだから。

荒木くん わかる、わかる！僕は高2まで社会、とくに世界史が嫌いだ。でも先生が小テストを積み重ね、ていねいに教えてくれたので、どんどん興味が出てきたんです。高3では得意科目になり、大学でも世界史の講義をとっています。

横山くん 強いて言うなら、英語はどの学部を受験するにしてもしっかり勉強しておいた方がいいよね。その点、開明は中学から英検対策に力を入れていますね。

荒木くん 準2級を取得すると校名のロゴが入った開明タオルがもらえるんだよね(笑)。もちろん英検だけでなく、何かをがんばった

心から「学校って楽しい」って言える！

●2013年卒業生・・・京都大学法学部1回生 荒木 健吾くん 京都大学農学部1回生 横山 彰くん



数学科・海原 直之先生(左)、荒木 健吾くん(中央)、横山 彰くん(右)



「中3の文化祭でクラスの団結が一気に強まった。人と親しくなるには自分から心を開くことが大切だと学びました」



「中学時代は校則も礼儀作法も厳しく言われましたが、結局すべてが社会に出て必要なことだとわかりました」